

総合科学の基礎C
哲学思想の基礎

2018/04/13

そもそも「哲学」とは①

マークシートの記入要領

10ケタの学生番号を記入

名前

今日の日付

哲学

No	名前										月 日																											
年	クラス	番号	D		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	U	V	W	
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

10ケタの学生番号を鉛筆でマーク

小テストなどに
使います。

ここに注意！

この授業の目的

- 西洋哲学の基本概念を取り上げ、哲学がどのような問題意識から、どのような問題を扱ってきたのかを概説する。
- 毎回、授業内容を受けて考えたことを書くことで、論理的な文章を書く能力の獲得を目指す。

- 提出は、「総合科学入門講座」と同様、manabaを利用します。
- 書くべき内容も同様です。感想でなく、論説文を。
 - ① 授業の要点をまとめる。
 - ② 意見・質問等を書く。
 - ③ 意見の根拠、質問する理由を書く。質問の場合には、自分なりの解答とその根拠も書く。

授業の概要

- 歴史的にみると、自然科学は哲学から派生したものである。自然科学における研究の問題意識や前提は、哲学に由来するものが多い。例えば、「自然法則の实在」や「実験的方法による証明」など。
- しかし、それらの前提は、哲学において論争となってきた。「实在と現象」「個物と普遍」「実体と形相」など、西洋哲学の基本概念を講義することで、自然科学を含む西洋思想の構造を説明する。

授業のウェブページ

徳島大学総合科学部 総合科学
2018年度 学部共通科目 入門講座

4月13日開講予定

授業の資料やアンケート結果などを掲示するためのページです

2018年度

★授業の担当者・授業の目的と概要

【授業計画】

⇒ 4月分

⇒ 5月分

⇒ 6月分

【掲示板】

◀ [ディスカッション用掲示板](#)

【授業コメントの提出マニュアル】

【過去の授業】

[2016年度 授業ページ](#)

[2017年度 授業ページ](#)

【参考資料】

▼旧カリキュラム「科学と人間」

【総合科学の基礎C

[\(哲学思想の基礎\)の授業ページへ](#)



- 「総合科学入門講座」のページにリンクがあります。
- <http://web.ias.tokushima-u.ac.jp/shin-kokusai/philosophy/top.html>

4月13日開講予定

授業の資料やアンケート結果などを掲示するためのページです

2018年度

【授業計画】

➡ 4月

➡ 5月

➡ 6月

【徳島大学e-learningサポート室】

【参考資料】

Manabaへの
入り口

2011年度 授業ページ
2012年度 授業ページ
2013年度 授業ページ
2014年度 授業ページ
2015年度 授業ページ
2016年度 授業ページ
2017年度 授業ページ

次回から配布資料は
木曜の昼までにウェブ
ページに掲示するので、
自分で印刷して
持ってきてください。

そもそも「哲学」とは

- Philosophy: ギリシア語の「愛(フィリア) + 知恵(ソフィア)」
 - プラトン(BC470~399)が最初に使った言葉。
 - 「哲学」という訳語は西周(1829~1897)による。

哲学に対するよくある誤解

- 「正しさは人それぞれだ」
- 「個人の経験によってなんでも決まる」
- 「目に見えるものが実在だ」



- 正しさは**普遍的**。
- **経験に先立つもの**がある。
- 実在は目に見えない(**感覚**できない)

「学(=知)」は普遍を目指す

- 「知識愛好」というが、どんな知識を？
- 「哲学者」**アリストテレス**の著作：
 - 自然学、形而上学、政治学、倫理学、心理学、動物学、天文学...

=およそすべての知識の領域。

- アリストテレスの諸著作は12世紀以降、(アラビア経由で)西ヨーロッパに伝えられ、諸学の基礎となった。
- 現代につながる哲学用語の大部分を作ったのはアリストテレス。

近世の哲学は？

- **デカルト**：「われ思う、ゆえにわれあり」
 - 彼の著作：方法序説、省察、宇宙論、人間論、屈折光学、幾何学、心理学...

= やっぱり、およそすべての領域。
- **ニュートン**は「物理学者」？
 - 彼の著作：**Philosophiæ** Naturalis Principia Mathematica

19世紀末まで、

- Philosophyは、現代でいうところの「自然科学」という意味だった。
 - 江戸時代の蘭学者・英学者たちは、philosophyを「理学」「物理学」などと訳していた。
 - Natural Scienceという言葉やScientistといった言葉が使われるのは19世紀末（日本で言うと明治初年）。
 - 「科学」という訳語は、明治14年の『哲学字彙』以降、一般化。

通常の「哲学史」

- プラトン、アリストテレス、デカルトなどの著作の、**現代から見て「哲学」に見えるもの**をつなげて作ってある。
- 「科学史」も同様。
- 実際には、Philosophyは「総合科学」とでもいうようなものだった。
 - そこから諸科学が派生してきた。
 - 「学(=知)の歴史」を理解するためには、哲学と科学といった現代的な区分を前提とせず、その時代時代の学の全体像をとらえることが必要。

今日の宿題

- 授業へのコメントをmanabaで送信。
- 締め切りは火曜日の17時。(総合科学入門の宿題の次の日)。
- 授業のまとめ、意見・質問、それらの根拠と理由、質問の場合は自分なりの回答とその根拠。
- 今後の授業は、みなさんからのコメントを中心に進めます。
- 次回から、配布資料を自分で印刷するのを忘れないように。